

会計名			社会教育主事講習実施事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	1					作成者	加藤 良	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援						
	目的	社会教育主事任用資格を取得することで職員の専門性向上を図り、市民の学習活動への取組みを支援する。				主たる内容	研修参加に要する費用を支出する。		
	対象者	市職員							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画					
	事業期間	不明～	根拠法令	社会教育法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	受講者なし		受講者なし		社会教育主事講習 受講者1名		受講予定なし		
	成果 (できたこと)	平成23年度当初に、社会教育主事を新たに1名発令することができた。							
	課題 (できなかったこと)	社会教育主事の辞令を発令するには3年間の職務経験が必要であるが、発令後1～2年で人事異動対象となるため、定期的に職員を講習に派遣する必要がある。講習に際し、1ヶ月間当該職員が不在となるため他の職員の負担が大きい。また、愛知・岐阜・三重・静岡の4県で持ち回りで開催されるため、開催場所が遠方の場合は参加が困難である。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
社会教育主事講習への参加			0人	0人	1人	0人	1人		
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				762		9 旅費	14,960 円	
	事業費				37		19 負担金、補助及び 交付金	22,000 円	
	特定財源				0		合計		36,960 円
	一般財源				37				
	職員人件費				725				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			家庭教育地域推進事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	1					作成者	加藤 良	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援						
	目的	各種事業を地域において実施する中で、家庭の教育力向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会への事業委託		
	対象者	市民							
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	不明～		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	小垣江小学校区家庭教育推進協議会 実績2,732人		かりがね小学校区家庭教育推進協議会 実績2,393人		かりがね小学校区家庭教育推進協議会 実績2,584人		小高原小学校区家庭教育推進協議会		
	成果 (できたこと)	学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。							
	課題 (できなかったこと)	事業を委託する学校により活動内容が異なるため、参加者の増減のみで事業の達成度を評価することが困難である。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
家庭教育地域推進事業の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施		
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				632	651	13 委託料 270,000 円		
	事業費		300	270	270	270	合計 270,000 円		
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			270	270	270			
	職員人件費				362	381			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			PTA活動育成事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	1					作成者	加藤 良	
P L A 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援						
	目的	PTA会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、PTA活動の育成を図る。				主たる内容	○PTA連絡協議会育成補助 ○全国大会旅費補助 ○東海北陸大会旅費補助 ○会場借上料補助		
	対象者	市民							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画					
事業期間	不明～		根拠法令						
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> PTA連絡協議会総会 PTA研究大会及び情報交換会 東海・北陸ブロックPTA研究大会石川大会 日本PTA全国研究大会香川讃岐 県及び三河PTA連絡協議会各種事業 		<ul style="list-style-type: none"> PTA連絡協議会総会 PTA研究大会及び情報交換会 東海・北陸ブロックPTA研究大会名古屋大会 日本PTA全国研究大会みやぎ 県及び三河PTA連絡協議会各種事業 		<ul style="list-style-type: none"> PTA連絡協議会総会 PTA研究大会及び情報交換会 東海・北陸ブロックPTA研究大会福井大会 日本PTA全国研究大会ちば大会 県及び三河PTA連絡協議会各種事業 		<ul style="list-style-type: none"> PTA連絡協議会総会 PTA研究大会及び情報交換会 東海・北陸ブロックPTA研究大会愛知大会 日本PTA全国研究大会広島大会 県・三河PTA連絡協議会各種事業 		
	成果 (できたこと)	総会、研究大会などの実施によりPTA活動の活性化を図ることができた。							
	課題 (できなかったこと)	毎年行われる全国大会・東海北陸大会の開催地や活動発表の有無により参加人数が異なり、それに合わせて旅費の補助額が増減する。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
PTA総会など各種研修会の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			780	998	19 負担金、補助及び交付金			
	事業費	294	381	418	617	合計			
	特定財源		0	0	0	418,150 円			
	一般財源		381	418	617	418,150 円			
	職員人件費			362	381				
建設事業	全体事業費		備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			生涯学習推進事業			担当部	生涯学習部	
一般会計						担当課	生涯学習課	
款	項	目				課等長名	鈴木 康則	
10	5	1				作成者	加藤 良	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援				
	目的		刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。		主たる内容	○生涯学習啓発用品購入 ○生涯学習情報誌作成 ○生涯学習ビデオ製作業務委託 ○生涯学習に関する研修会の開催		
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画		
	事業期間		不明～		根拠法令			
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 クラブ・サークル等研修会 よかよかガイド作成 生涯学習ビデオ製作 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 生涯学習リーダーステップアップ研修 よかよかガイド作成 生涯学習ビデオ製作 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 クラブ・サークル等研修会 生涯学習リーダーステップアップ研修 よかよかガイド作成 生涯学習ビデオ製作 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 生涯学習リーダーステップアップ研修 よかよかガイド作成 	
	成果 (できたこと)		生涯学習リーダー基礎知識講座及びステップアップ研修を通じて、活動の活性化を図ることができた。よかよかガイド作成により講座情報を広く市民に周知し、生涯学習活動への取組みを支援することができた。					
	課題 (できなかったこと)		生涯学習リーダーによる相談機能の確立に向け、今後、検討する必要がある。					
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
生涯学習推進員の人数			24人	27人	32人	30人	40人	
クラブ・サークル等名簿登録団体数			-	347団体	-	320団体	375団体	
他市との比較検証								
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				9,041	9,801		
	事業費		4,820	4,326	3,967	3,711	8 報償費	113,400 円
	特定財源			0	0	0	9 旅費	1,660 円
	一般財源			4,326	3,967	3,711	11 需用費	3,063,445 円
	職員人件費				5,074	6,090	13 委託料	756,000 円
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		14 使用料及び賃借料	32,250 円	
		22年度迄の累積事業費				合計	3,966,755 円	
		24年度以降の事業費見込						

会計名			公共施設予約案内システム事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	1					作成者	岡本 和幸	
P L A A N 事 業 概 要	第7次 総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設の窓口まで出向くことなく、パソコン、利用者端末機、携帯電話にて施設の空き状況の確認や予約を可能とする予約案内システムを運用する。				主たる内容	○システム保守管理業務委託 ○システム機器リース		
	対象者	対象者を限定せず。							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	H13～未定	根拠法令						
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	予約申込件数106,550件 ・システム保守管理委託 ・システムリース		予約申込件数107,793件 ・システム保守管理委託 ・システムリース ・総合文化センター施設マスター設定業務委託		予約申込件数112,162件 ・システム保守管理委託 ・システムリース		・システム保守管理委託 ・システムリース ・社会教育センター等マスター設定業務委託		
	成果 (できたこと)	市民の施設利用にかかる利便性の向上及び施設の効率的な運用ができた。							
	課題 (できなかったこと)	次期システムの導入に向けて、利用者や施設などの意見を踏まえつつ、さらなる利便性の向上と施設の効率的な運用を目指していく。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
予約申込件数			106,550件	107,793件	112,162件	114,500件	119,000件		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				21,295	20,838			
	事業費		14,865	26,811	15,496	14,747	7 賃金	811,293 円	
	特定財源			0	0	0	11 需用費	962,787 円	
	一般財源			26,811	15,496	14,747	12 役務費	205,013 円	
	職員人件費				5,799	6,091	13 委託料	3,313,800 円	
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込						14 使用料及び賃借料	10,202,850 円	
						合計	15,495,743 円		

会計名 一般会計			社会教育施設等整備事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5			目 1	担当課 生涯学習課	
						課等長名 鈴木 康則		
						作成者 岩坪 エリカ		
P A L A N 事業概要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習機会の充実				
	目的		社会教育センター、市民ボランティア活動センター及び国際プラザを複合施設として一体的に整備することにより、社会教育環境の充実、ボランティア活動の推進等を図るとともに、それぞれの施設の利用者層が異なることを生かし、年代・職種・性別・団体の枠を超えた市民交流の促進を図る。		主たる内容		旧市役所南庁舎を改修し、社会教育センター・市民ボランティア活動センター・国際プラザを整備する。	
	対象者		市民					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画			
	事業期間		H21～H23		根拠法令			
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
			基本設計完了		実施設計完了		旧市役所南庁舎改修工事 *23年度から10.5.3(社会教育センター費)で実施	
	成果 (できたこと)		複合施設へ改修するための実施設計を完了した。					
	課題 (できなかったこと)		社会教育施設等として整備完了するとともに、管理運営方法についても検討する必要がある。					
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
	基本設計・実施設計			-	基本設計完了	実施設計完了	-	-
	改修工事			-	-	-	完了	-
	他市との比較検証							
	C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳
単位：千円				57,554				
事業費			3,465	56,829		11 需用費 15,000 円 13 委託料 8,925,000 円 17 公有財産購入費 47,888,976 円 合計 56,828,976 円		
特定財源			0	0				
一般財源			3,465	56,829				
職員人件費				725				
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費						
		24年度以降の事業費見込						

会計名			公民館事務費事業				担当部	生涯学習部
一般会計							担当課	生涯学習課
款	項	目					課等長名	鈴木 康則
10	5	1					作成者	加藤 良
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習活動の支援					
	目的	県・西三の実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。				主たる内容	中央公民館長表彰に要する経費のほか、県・西三の実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。	
	対象者	市民						
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画				
	事業期間	不明～		根拠法令				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰7名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰7名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰5名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 	
	成果 (できたこと)	中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとなった。 県の主催する公民館関係事業へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。						
	課題 (できなかったこと)	毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 各種会議での報告は、会議へ参加しなくても書面で十分な場合がある。						
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
中央公民館表彰実施及び各種会議参加			実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
他市との比較検証								
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				787	908	8 報償費	10,000 円
	事業費		591	550	62	147	9 旅費	4,500 円
	特定財源			0	0	0	11 需用費	22,365 円
	一般財源			550	62	147	14 使用料及び賃借料	6,350 円
	職員人件費				725	761	19 負担金、補助及び交付金	18,600 円
						合計	61.815 円	
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			公民館管理費				担当部	生涯学習部	
一般会計			市民館施設管理事業				担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	1					作成者	岩坪 エリカ	
P L A A N	第7次総合計画		分野	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進					
	基本施策 施策の内容								
	目的		指定管理者による市民館の施設維持管理を通して、市民館施設管理業務の適正化・迅速化を図る。			主たる内容 ○市民館の修繕及び樹木管理 ○指定管理者による維持管理業務			
	対象者		市民						
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画				
事業期間		不明～		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例・刈谷市市民館施設維持管理要綱				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 施設修繕(6館7箇所) 火災保険料支払い 樹木剪定委託(3館) 指定管理料支払い(22館) 		<ul style="list-style-type: none"> 施設修繕(7館10箇所) 火災保険料支払い 樹木剪定委託(3館) 指定管理料支払い(22館) 		<ul style="list-style-type: none"> 施設修繕(3館3箇所) 火災保険料支払い 樹木剪定委託(3館) 指定管理料支払い(22館) 東部市民館デジタル電波障害調査 		<ul style="list-style-type: none"> ガス漏れ警報機更新 施設修繕 テレビ廃棄(12市民館13台分) 火災保険料支払い 樹木剪定委託 指定管理料支払い(22館) 		
	成果 (できたこと)		指定管理者である各市民館運営委員会からの不具合報告や市民館の建築年次からくる経年劣化をふまえ、施設に対する修繕及び樹木の剪定を行った。また平成22年度は、エレベーター設置に伴い、市民館運営委員会を通じて5館についてエレベーター保守を開始するとともに、全22館において防火対象物定期点検報告業務を新たに開始した。						
	課題 (できなかったこと)		各市民館運営委員会による責任のある管理・運営を指導するとともに、連携を図って適正・迅速に維持管理を行う必要がある。また、今後も各市民館の施設状況把握に努め、計画的に修繕及び樹木剪定を実施する必要がある。						
	指標名称		実績値			目標値			
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				17,159	21,791	11 需用費	2,097,900 円	
	事業費		10,855	11,245	14,622	19,126	12 役務費	73,602 円	
	特定財源			83	28	38	13 委託料	12,450,618 円	
	一般財源			11,162	14,594	19,088	合計	14,622,120 円	
	職員人件費				2,537	2,665			
建設 事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			公民館管理費			担当部	生涯学習部	
一般会計			公民館運営事業			担当課	生涯学習課	
款	項	目				課等長名	鈴木 康則	
10	5	1				作成者	加藤・岩坪	
P L A A N 業 業 概 要	第7次 総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進					
	目的	公民館活動の運営及び集会所運営等補助を行い、地区活動の活性化及び生涯学習活動の場の確保を図り、社会教育の活性化を目指す。				主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○集会所運営費等補助	
	対象者	市民						
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画				
	事業期間	不明～	根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱				
B D O 業 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	・公民館運営委託(22地区) ・公民館備品購入補助(16地区) ・公民館連絡協議会補助 ・集会所運営費補助(31箇所) ・集会所借地料補助(8箇所) ・集会所修繕費補助(3箇所)		・公民館運営委託(22地区) ・公民館備品購入補助(15地区) ・公民館連絡協議会補助 ・集会所運営費補助(32箇所) ・集会所借地料補助(10箇所) ・集会所修繕費補助(2箇所)		・公民館運営委託(22地区) ・公民館備品購入補助(20地区) ・公民館連絡協議会補助 ・集会所運営費補助(33箇所) ・集会所借地料補助(11箇所) ・集会所修繕費補助(3箇所)		・公民館運営委託(22地区) ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 (集会所関係は「集会所運営費等補助事業」へ移行)	
	成果 (できたこと)	各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を図った。集会所へ運営費補助及び借地料補助を行うほか、集会所修繕費補助については、各集会所代表者等からの要望を受け、計画的に修繕費補助を進めることで、地域コミュニティ活動の場としての集会所の安全性の確保を図った。						
	課題 (できなかったこと)	各地区の特性を生かした活動が行えるような支援を今後は検討していく必要がある。						
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
公民館活動事業数			160事業	151事業	152事業	150事業	150事業	
他市との比較検証			安城市:78団体 13,131,065円 碧南市:31団体 43,457,000円 知立市:31団体 10,971,950円 高浜市:18団体 2,675,000円					
C 業 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位:千円			29,409	20,723	13 委託料	10,217,000 円	
	事業費	20,852	20,676	22,523	15,013	19 負担金、補助及び 交付金	12,306,015 円	
	特定財源		2	7	0	合計		
	一般財源		20,674	22,516	15,013	22,523,015 円		
職員人件費			6,886	5,710				
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			市民館等施設補修事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	1					作成者	岩坪 エリカ		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	目的		市民館の施設・設備の老朽化に伴う施設補修等を行い、地区住民により一層親しまれ、利用しやすい施設を維持し、地区活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。			主たる内容		○空調機の取替工事、下水道本管への接続工事等		
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間		不明～		根拠法令						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> 空調機取替(6館8箇所) 施設修繕及び補修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 今川市民館下水道接続 空調機取替(7館8箇所) 施設修繕及び補修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 野田市民館下水道接続 空調機取替(8館10箇所) 施設修繕及び補修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 小垣江市民館下水道接続 空調機取替(予定5館) 施設修繕及び補修工事 			
	成果 (できたこと)		市民館の建築年次や指定管理者である各市民館運営委員会からの施設設備の故障・不具合報告をふまえ、修繕及び補修工事を行い、維持管理を行った。							
	課題 (できなかったこと)		空調については、各市民館の建設年次及び空調機取替年次からの経過年数を基に取替計画を行ったうえで、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ計画的に実施。経年による劣化で設備の不具合の増加も予想されることから、今後も常に各市民館の状況を把握してゆく必要がある。また、下水道接続工事については、本管接続時期及びエレベータ設置工事等他の工事との兼ね合いを踏まえ計画的に実施する必要がある。							
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
下水道接続率				85%	90%	95%	100%			
空調機更新率			12%	17%	25%	37%	72%			
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				15,008	16,584	11 需用費	2,149,728 円		
	事業費		11,095	11,707	12,833	14,300	15 工事請負費	10,683,750 円		
	特定財源			0	0	0	合計	12,833,478 円		
	一般財源			11,707	12,833	14,300				
	職員人件費				2,175	2,284				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			市民館エレベータ設置事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	1					作成者	岩坪 エリカ	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進					
	目的	市内20箇所の市民館にエレベータを設置することで、高齢者や障害者にとって負担の大きい階段の上り下りを軽減し、市民館の利便性を向上させ、地域活動の活性化を図る。				主たる内容	エレベータの設計及び設置工事を行う。		
	対象者	市民							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間	H20～H24		根拠法令						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計(5館) 西境・高津波・中部 ・築地・小山 基本設計 上記5館及び平屋造り2館を除く15館 		<ul style="list-style-type: none"> 設置工事(5館) 西境・高津波・中部 ・築地・小山 実施設計(5館) 高須・一ツ木・元刈谷 ・東部・重原 		<ul style="list-style-type: none"> 設置工事(5館) 高須・一ツ木・元刈谷 ・東部・重原 実施設計(5館) 井ヶ谷・今岡・熊 ・一里山・西部 		<ul style="list-style-type: none"> 設置工事(5館) 井ヶ谷・今岡・熊 ・一里山・西部 実施設計(5館) 桜・野田・今川 ・東境・小垣江 		
	成果 (できたこと)	平成22年度末までに、計10館の市民館にエレベータを設置した。また、平成22年度の設置工事については、各市民館の行事予定等を考慮し、利用者に不便をかけないよう工期を2通りに分けて施工した。 ・平成22年12月竣工(一ツ木・元刈谷・東部) ・平成23年3月竣工(高須・重原)							
	課題 (できなかったこと)	未施工市民館のうち、一部は建物の間取りの都合により設置工事が大規模になり、経費が嵩むことが見込まれる。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
エレベータ実施設計			5館	5館	5館	5館	-		
エレベータ設置工事			-	5館	5館	5館	-		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				122,535	152,891	12 役務費	471,000 円	
	事業費		7,455	85,874	120,360	150,607	13 委託料	4,147,500 円	
	特定財源			0	0	0	15 工事請負費	115,741,500 円	
	一般財源			85,874	120,360	150,607	合計	120,360,000 円	
	職員人件費				2,175	2,284			
建設 事業	全体事業費					備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			集会所設置補助事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	1					作成者	岩坪 エリカ		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	目的		集会所の設置等に係る費用を補助し、地区住民の負担軽減を図ることにより、地区活動の拠点を確保する。			主たる内容	集会所の設置・修繕等に対し補助金を交付する。			
	対象者		市民							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間		不明～	根拠法令	集会所設置補助金交付要綱					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	・東境高山集会所修繕費補助		・中・向組集会所設置事業等補助 ・井ヶ谷町北集会所修繕事業補助		・小山集会所修繕費補助		平成23年度から事業名変更「集会所設置等補助事業」 ・小山集会所修繕事業補助 ・沖野集会所建替工事費補助 ・小垣江下組集会所修繕費補助 ・落合集会所修繕費補助			
	成果 (できたこと)		地区住民の要望のもとに小山集会所開設に伴う修繕費補助を行い、地区のコミュニティ活動の活性化を促した。							
	課題 (できなかったこと)		耐震改修工事に対する補助及び修繕費補助等、今後も地区住民からの要望把握に努め計画的にすすめる必要がある。							
	指標名称				実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
修繕費補助				1館完了	2館完了	1館完了	4館完了			
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				2,219	13,687	19 負担金、補助及び 交付金			
	事業費		3,761	13,506	1,494	12,926	合計 1,494,155 円			
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			13,506	1,494	12,926				
	職員人件費				725	761				
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			ボーイスカウト育成費				担当部	生涯学習部		
一般会計			ボーイスカウト日本ジャンボリー参加補助事業				担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	1					作成者	三浦 高雄		
P L A A N 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的		国内のスカウトとの交流・交歓を通じ、相互の連携を深めるとともに、外国スカウトとの交流により、国際理解・貢献・協力意識の向上につなげ、青少年健全育成を図る。			主たる内容		4年ごとに開催されるスカウト運動最大のキャンプ大会日本ジャンボリーにおける本市の各団代表スカウト及び指導者等の参加に対し補助金を交付する。		
	対象者		ジャンボリーに参加するスカウト代表者及び指導者							
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画					
	事業期間		不明～	根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、刈谷市ボーイスカウト日本ジャンボリー補助金交付基					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	実績なし		実績なし		第15回 日本ジャンボリー ・日時 22年8月2日～8日 ・場所 静岡県富士宮市 朝霧高原 ・参加人数 スカウト:24人 指導者:16人		計画なし			
	成果 (できたこと)		長期間にわたり多くの仲間と野営生活をする事で多くの内外の青少年と交流を深め、試練と感動の中で成長することができた。 補助金の交付により、参加者の負担軽減が図れている。							
	課題 (できなかつたこと)		ジャンボリーの開催地が遠方になった場合、参加者の負担が増大する。							
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
	参加者への負担金補助			なし	なし	実施	なし	なし		
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				1,205		9 旅費	31,000 円		
	事業費				481		19 負担金、補助及び 交付金	450,000 円		
	特定財源				0		合計		481,000 円	
	一般財源				481					
	職員人件費				724					
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			青少年健全育成事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	5					作成者	三浦 高雄	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年を取り巻く環境の整備					
	目的		市内小中高、関係機関で組織する児童生徒愛護会活動を中心に、児童生徒の学校外の生活指導、安全確保などの取組を行い、青少年の健全育成を図る。			主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒愛護会の開催 ○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○地区別生活指導懇談会の開催 ○善行美德表彰の実施 ○危険箇所調査の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 		
	対象者		市民						
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画				
事業期間		不明～		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美德表彰21件64人表彰 ・危険箇所調査 21件 ・家庭の日作文コンクール 実施 ・青少年作文コンクール 応募160通 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美德表彰21件33人表彰 ・危険箇所調査 22件 ・家庭の日作文コンクール 実施 ・青少年作文コンクール 応募328通 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒愛護会 定例会3回 ・地区別生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美德表彰20件81人表彰 ・危険箇所調査 17件 ・家庭の日作文コンクール 実施 ・青少年作文コンクール 応募636通 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美德表彰 実施 ・危険箇所調査 実施 ・家庭の日作文コンクール 実施 ・青少年作文コンクール 実施 ・家族への手紙コンクール 実施 		
	成果 (できたこと)		青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、学校、家庭、地域が連携を図り、青少年の環境の整備を図ることができた。						
	課題 (できなかったこと)		各会議の開催・街頭補導、年3回の作文コンクール等の事業を実施するにあたっては、地域の方々及び教育関係者の協力が必要であるが、協力者への負担が大きくなることもある。						
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
各事業等の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				3,699	4,721			
	事業費		2,396	2,517	2,250	2,438	8 報償費	562,063 円	
	特定財源			16	8	5	9 旅費	6,860 円	
	一般財源			2,501	2,242	2,433	11 需用費	798,168 円	
	職員人件費				1,449	2,283	13 委託料	794,500 円	
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		14 使用料及び賃借料	87,950 円		
		22年度迄の累積事業費		子育て支援交付金(国)		合計	2,249,541 円		
		24年度以降の事業費見込							

会計名			家庭教育啓発指導事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	5					作成者	三浦 高雄		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 家庭教育の推進						
	目的		市内22地区の青少年育成市民運動地域推進員が地域における青少年健全育成の推進と家庭教育の啓発事業を実施し、家庭と地域の教育機能の向上を図る。			主たる内容		○青少年育成推進員連絡協議会の開催 ○家庭教育啓発指導事業推進会（講演会）の開催 ○市民運動等強調月間における街頭啓発活動の実施 ○研修会の実施 ○夏季特別夜間街頭補導への参加 ○中学校区生活指導懇談会への参加		
	対象者		市民（青少年）							
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画					
事業期間		不明～		根拠法令		刈谷市青少年育成市民運動地域推進員設置要綱				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進員連絡協議会 4回 ・家庭教育啓発指導事業推進会（講演会） 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 3回 ・研修会 1回 ・施設見学 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回 		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進員連絡協議会 4回 ・家庭教育啓発指導事業推進会（講演会） 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 3回 ・研修会 1回 ・施設見学 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回 		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進員連絡協議会 4回 ・家庭教育啓発指導事業推進会（講演会） 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 3回 ・研修会 1回 ・施設見学 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回 		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発指導事業推進会（講演会） 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 3回 ・研修会 1回 ・施設見学 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回 			
	成果 （できたこと）		青少年育成推進員の活動を通して、青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、家族がふれあい、絆の強い明るい家庭づくりを促進した。							
	課題 （できなかったこと）		青少年育成推進員は各地区から1人ずつ選出されているが、推進員の補導活動等には限界があり、地域からの協力が必要である。							
	指標名称				実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
各会議の開催及び街頭啓発等の実施				実施	実施	実施	継続実施	継続実施		
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 （決算）	21年度 （決算）	22年度 （決算）	23年度 （予算）	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				1,525	1,985				
	事業費		452	555	438	463	8 報償費	190,400 円		
	特定財源			0	0	0	9 旅費	1,660 円		
	一般財源			555	438	463	11 需用費	185,739 円		
	職員人件費				1,087	1,522	12 役務費	30,000 円		
建設事業		全体事業費		備考（補助名称等）		14 使用料及び賃借料	30,300 円			
		22年度迄の累積事業費		子育て支援交付金(国)		合計	438,099 円			
		24年度以降の事業費見込								

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	5					作成者	三浦 高雄	
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	青少年が自然体験、地域活動、異世代交流などの社会活動に参加しやすい環境を整備することにより、地域社会を基盤とした青少年健全育成活動の支援を図る。				主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業10万円を限度として補助金を交付する。		
	対象者	連携した複数の非営利団体等							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画				
	事業期間	H16～	根拠法令						
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	・応募7事業 ・採択7事業		・応募6事業 ・採択6事業		・応募6事業 ・採択6事業		・応募7事業 ・採択7事業		
	成果 (できたこと)	補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境作りを支援した。							
	課題 (できなかったこと)	補助枠は7事業あったが、21年度と同様に22年度も6事業の応募(採択6事業)であり、1枠残となった。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
補助対象採択事業数			採択7事業	採択6事業	採択6事業	採択7事業	採択8事業		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			1,647	2,222	19 負担金、補助及び 交付金			
	事業費	618	571	560	700	合計			
	特定財源		54	54	42	560,339 円			
	一般財源		517	506	658	560,339 円			
	職員人件費			1,087	1,522				
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費			子育て支援交付金(国)					
	24年度以降の事業費見込								

会計名			放課後子どもプラン事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	5					作成者	三浦 高雄	
P L A A N 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進					
	目的		学校、家庭、地域が連携して放課後の安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			主たる内容	地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに遊びや学習、体験活動などの取り組みを行う放課後子どもプラン「放課後子ども教室」を開設する。 23年度は新規2校（朝日小、衣浦小）開設予定		
	対象者		各小学校に在籍する児童						
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画(後期計画)、刈谷市生涯学習推進計画			
	事業期間		H20～	根拠法令	放課後子どもプラン推進事業実施要綱				
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	場所 小高原小学校 定員数 80人		場所 小高原小学校 定員数 80人 場所 富士松北小学校 定員数 40人		場所 小高原小学校 定員数 80人 場所 富士松北小学校 定員数 40人 場所 小垣江小学校 定員数 40人		【既設】 場所 小高原小学校他2校 定員数 160人 【新設】 場所 朝日小学校 定員数 40人 場所 衣浦小学校 定員数 40人		
	成果 (できたこと)		遊びの場、体験活動の場、学びの場を提供することができた。 学年、学級を超えた集団遊び等を通して子ども同士での関わり方を学ぶことができた。 学校生活に不適應がちな子どもにも、学校に来る楽しみやエネルギーを与えることができた。						
	課題 (できなかったこと)		教室のスペースに限りがあるため、登録の制限が必要となっている。 放課後子ども教室の拡充に伴い、コーディネーター等多数の地域の人材が必要となる。						
	指標名称		実績値			目標値			
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
開設校数		1校	2校	3校	5校	9校			
登録児童数		138人	176人	266人	350人	510人			
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				11,600	20,115			
	事業費		3,757	5,313	7,614	13,264	8 報償費	6,347,420 円	
	特定財源			3,902	5,000	8,176	11 需用費	340,946 円	
	一般財源			1,411	2,614	5,088	12 役務費	150,218 円	
	職員人件費				3,986	6,851	14 使用料及び賃借料	2,400 円	
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		18 備品購入費	773,185 円		
		22年度迄の累積事業費		愛知県放課後子ども教室推進事業費補助金(県)		合計	7,614,169 円		
		24年度以降の事業費見込							

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5			目 5	担当課 生涯学習課	
						課等長名 鈴木 康則		
						作成者 三浦 高雄		
P A L A N 事業概要	第7次総合計画	分野 教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	普通のびのび遊ぶ機会や人とのつながりが少ない子どもたちが、学年の異なる子どもと遊んだり、地域の人々と交流する場を設けることにより人との付き合い方や自分の考えを相手に伝える力を育む。			主たる内容	小中学生を対象に市内3箇所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 キッズクラブ ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 刈谷市総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月 月3回土曜日の午前または午後		
	対象者	市内在住の小・中学生						
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画			
	事業期間	H17～	根拠法令					
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	参加者延べ人数 1,338人 ・たんぼぼ 673人 ・おやま 381人 ・かきつばた 284人		参加者延べ人数 1,450人 ・たんぼぼ 551人 ・おやま 410人 ・かきつばた 489人		参加者延べ人数 996人 ・たんぼぼ 327人 ・アイリス 412人 ・かきつばた 257人		参加者延べ人数 1,000人 ・たんぼぼ 350人 ・アイリス 400人 ・かきつばた 250人	
	成果 (できたこと)	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育み、安心・安全な週末の居場所を提供し、様々な体験活動を通して地域住民との交流ができた。						
	課題 (できなかったこと)	開催時間に地域・学校の行事、習い事等が重なり児童の参加が難しく減少したため、参加を促進するような働きかけが必要である。						
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
参加者数(3会場合計)			1,338人	1,450人	996人	1,000人	1,000人	
他市との比較検証								
C 事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円			3,473	4,258	13 委託料	2,749,236 円	
	事業費	2,616	2,607	2,749	2,736	合計	2,749,236 円	
	財源		1,057	1,512	1,346			
	特定財源		1,550	1,237	1,390			
	一般財源			724	1,522			
職員人件費			備考(補助名称等)					
建設事業	全体事業費				愛知県放課後子ども教室推進事業費補助金(県)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			中高生の居場所づくり事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	5					作成者	三浦 高雄	
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	若者の自立の遅れが課題となっている中、ピア（仲間同士）の助け合いや交流活動を通じて、中高生の自立を支援するとともに、地域の中で子どもたちを育む環境の整備を図る。				主たる内容	中高生が放課後等に気軽に立ち寄れる居場所を提供し、声かけ、悩み等の相談対応や自主的な活動への支援を行う。大学生をピアカウンセラーとして養成し、スタッフとして配置する。 場 所 刈谷市総合文化センター内 談話コーナー 開催日 毎週火・木曜日 16:00~21:00		
	対象者	市内在住または在学中の中・高生							
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画(後期計画)、刈谷市生涯学習推進計画				
	事業期間	H22～		根拠法令					
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	—		—		利用者数 延べ1,260人		利用者数 延べ1,300人		
	成果 (できたこと)	22年度新規事業であり、中高生のニーズを把握しながらでの開設であったが、学習活動などで多くの利用があり、参加者数も順調に推移している。							
	課題 (できなかったこと)	本事業の活動として悩みの相談対応があるが、ピアカウンセラー(仲間として相談にのる人)として活動する大学生スタッフの確保が課題である。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
年間利用者数			—	—	1,260人	1,300人	1,300人		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			2,852	3,125	13 委託料	1,879,416 円		
	事業費			2,128	1,984	18 備品購入費	248,640 円		
	特定財源			211	117	合計	2,128,056 円		
	一般財源			1,917	1,867				
	職員人件費			724	1,141				
	建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費			子育て支援交付金(国)					
	24年度以降の事業費見込								

会計名			ヤングカレッジ事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	5					作成者	碓井 絵理		
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	青少年に多様な学習・体験活動の機会を場を提供し、生涯学習の推進、ボランティア活動への参加促進を図る。				主たる内容	市内在住・在勤または在学の18~39歳（平成22年度までは35歳まで）の青少年を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。8回連続講座 年2回開催			
	対象者	市内在住・在勤の18~39歳の人								
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画						
	事業期間	不明～		根拠法令						
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	・ヤングカレッジⅠ 10回 受講者数 33人 ・ヤングカレッジⅡ 10回 受講者数 20人		・ヤングカレッジⅠ 8回 受講者数35人 ・ヤングカレッジⅡ 8回 受講者数19人		・ヤングカレッジⅠ 8回 受講者数22人 ・ヤングカレッジⅡ 8回 受講者数26人		・ヤングカレッジⅠ 8回 ・ヤングカレッジⅡ 8回 実施予定			
	成果 (できたこと)	青少年に多様な学習・体験活動の機会・場を提供することができた。								
	課題 (できなかったこと)	参加者が女性に偏るケースが多いため、男女を問わず参加し易い講座内容を考慮する必要がある。								
	指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
受講者数			53人	54人	48人	40人	40人			
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳				
	単位：千円			2,396	3,366					
	事業費	223	181	222	321	8 報償費	128,000 円			
	特定財源		0	38	32	14 使用料及び賃借料	94,000 円			
	一般財源		181	184	289	合計 222,000 円				
	職員人件費			2,174	3,045					
建設事業	全体事業費			備考（補助名称等）						
	22年度迄の累積事業費									
	24年度以降の事業費見込									

会計名			ヤングゼミナール事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	5					作成者	碓井 絵理	
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	青少年の学習機会の充実を図るとともに、自主活動グループの育成及び指導者の養成を推進する。			主たる内容	市内在住・在勤または在学の18歳～39歳（平成22年度までは35歳まで）の青年を対象に文化・芸術・スポーツなどの専門講座を開催する。8回連続講座 年2回開催			
	対象者	市内在住・在勤の18～39歳の人							
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画					
	事業期間	不明～		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	・アロマ生活&ハーブ生活講座 8回 受講人数13人 ・パワーヨガ講座 8回 受講人数56人		・アロマ生活&ハーブ生活講座 8回 受講人数27人 ・コミュニケーション術講座 8回 受講人数18人		・ウォーキング講座 6回 受講人数11人 ・コミュニケーション術講座 8回 受講人数21人		2講座実施予定		
	成果 (できたこと)	専門的な講座を実施することにより、青少年の学習機会の充実を図るとともに、生涯学習活動の推進に寄与することができた。							
	課題 (できなかったこと)	自主活動グループ及び指導者の養成を推進するには、積極的な情報発信、働きかけを検討する必要がある。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
受講者数			69人	45人	32人	40人	40人		
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				2,333	3,322	8 報償費 134,000 円		
	事業費		196	184	159	277	14 使用料及び賃借料 25,300 円		
	特定財源			34	23	25	合計 159,300 円		
	一般財源			150	136	252			
職員人件費				2,174	3,045				
建設事業	全体事業費					備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			成人式開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	5					作成者	三浦 高雄	
P L A A N 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 青少年育成 青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。				主たる内容	新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画・運営を行い、心に残る成人式を開催する。		
	対象者	該当年度の4月2日～3月31日及び翌年度の4月1日生まれの者							
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間	不明～	根拠法令	刈谷市成人式実行委員会組織設置基準						
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	開催日 平成21年1月11日 会場 刈谷市体育館 対象者数 1,977名 参加者数 1,170名 委託料 3,600,000円		開催日 平成22年1月10日 会場 刈谷市体育館 対象者数 1,727名 参加者数 1,076名 委託料 3,600,000円		開催日 平成23年1月9日 会場 刈谷市総合文化センター 対象者数 1,792名 参加者数 1,200名 委託料 2,522,373円		開催日 平成24年1月8日 会場 刈谷市総合文化センター 対象者数 1,635名 参加者数 1,095名 委託料 3,600,000円		
	成果 (できたこと)	成人式を行うことにより、新成人たちが恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。							
	課題 (できなかったこと)	刈谷市総合文化センターでの開催は初めてであったが、来場者の駐車場等、次年度以降に課題となる点があった。							
	指標名称			実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
成人式参加率			59.2%	62.3%	67.0%	67.0%	67.0%		
成人式実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				8,769	10,973	12 役務費	60,000 円	
	事業費		4,188	4,264	3,696	4,502	13 委託料	3,061,056 円	
	特定財源			0	0	0	14 使用料及び賃借料	575,350 円	
	一般財源			4,264	3,696	4,502	合計	3,696,406 円	
	職員人件費				5,073	6,471			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	10	作成者	岡本 和幸						
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容							
	目的		亀城公園内の十朋亭を市民に憩いの場として提供し、文化の向上及び福祉の増進を図る。			主たる内容		○受付等業務委託 ○施設・設備修繕		
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間		S47～未定		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・受付等業務委託 ・消防用設備保守管理委託 ・縦線入磨ガラス修繕 ・汚水管洗浄 ・電灯スイッチ等修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・受付等業務委託 ・冷暖房設備保守業務委託 ・消防用設備保守管理委託 ・1階トイレ雑排水管詰まり修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ・受付等業務委託 ・冷暖房設備保守業務委託 ・消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> ・受付等業務委託 ・冷暖房設備保守業務委託 ・消防用設備保守管理委託 			
	成果 (できたこと)		年代を問わず、四季を通じて会合・レクリエーション・休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉向上を図った。							
	課題 (できなかったこと)		施設利用者が増えたことに伴い、初めて施設をご利用になる方も増えている。このことから、施設予約や利用方法など、施設運用についてよく検討する必要がある。							
	指標名称				実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
十朋亭年間利用率				10.6%	21.7%	29.5%	30.4%	32.2%		
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				5,340	5,518	11 需用費	593,783 円		
	事業費		4,263	4,483	4,615	5,137	12 役務費	41,351 円		
	特定財源			744	969	730	13 委託料	3,955,885 円		
	一般財源			3,739	3,646	4,407	14 使用料及び賃借料	24,244 円		
	職員人件費				725	381	合計	4,615,263 円		
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)						
		22年度迄の累積事業費								
		24年度以降の事業費見込								

会計名			指定管理者選定事業				担当部	生涯学習部
一般会計							担当課	生涯学習課
款	項	目					課等長名	鈴木 康則
10	5	11					作成者	岩坪 エリカ
P L A A N 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容					
	目的		刈谷市民休暇村の管理・運営を行うに最適な団体を選定し、住民サービスの向上及び行政コストの削減を図る。		主たる内容		刈谷市民休暇村の管理運営を行う法人その他の団体を公募し、最もふさわしい団体を指定管理者に選定する。	
	対象者	市民						
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画				
	事業期間	H22～H22	根拠法令	地方自治法第244条の2				
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	—		—		指定管理者選定委員会2回開催		—	
	成果 (できたこと)	2社の応募に対し選定委員会2回開催のうえ指定管理者の選定を行った。 (西洋フード・コンパスグループ(株)指定期間平成23年4月1日から平成28年3月31日まで)						
	課題 (できなかったこと)	事前説明会は休暇村で開催し、選定委員会は市役所会議室で開催したため、会場借上料は全額未執行。応募法人が2社であったことから、経理諸表の審査手数料についても不用額が生じた。 選定した指定管理者と協力・連携のうえ、今後も円滑に管理運営を行う。						
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
指定管理者選定			—	—	選定	—	—	
他市との比較検証								
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				975		8 報償費 89,600 円	
	事業費				250		13 委託料 160,000 円	
	特定財源				0		合計 249,600 円	
	一般財源				250			
	職員人件費				725			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	11					作成者	岩坪 エリカ	
P L A A N	事業概要	分野	第7次総合計画 基本施策 施策の内容						
		目的	指定管理者を通じてより良い施設運営を行い、生涯学習の推進を図る。		主たる内容	○市民休暇村の維持管理 ○指定管理者による休暇村管理運営業務の実施			
		対象者	市民						
		実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画				
事業期間	H11～	根拠法令	刈谷市民休暇村条例・刈谷市民休暇村条例施行規則						
B D O	事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・管理用備品購入		・指定管理者による管理運営 ・管理用備品購入		・指定管理者による管理運営 ・管理用備品購入		・指定管理者による管理運営	
		成果 (できたこと)	指定管理者を通じて、市民休暇村の適切・効率的に維持管理を行った。また、地上デジタル放送完全移行に備え、客室等のテレビの取替えを行い、休暇村利用者へのサービス向上を図った。						
		課題 (できなかったこと)	用水維持管理負担金について、例年の経常賦課金に加え、平成21年度の災害により特別賦課金が課されたことにより負担金額が増額となった。今後は、用水の老朽化による修繕費等の増額も考えられるため、負担金の増額が見込まれる。また、平成24年度に休暇村オープン15年目を迎えるにあたり、施設の老朽化等に対する大規模な修繕を検討する時期となってくる。						
指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
年間客室稼働率			87.4%	86.5%	82.6%	75%	75%		
他市との比較検証									
C	事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
		単位：千円			100,503	99,639	11 需用費	797,160 円	
		事業費	102,452	101,335	98,328	97,355	12 役務費	108,000 円	
		特定財源		2	2	12	13 委託料	90,167,000 円	
		一般財源		101,333	98,326	97,343	14 使用料及び賃借料	3,490,907 円	
		職員人件費			2,175	2,284	18 備品購入費	776,475 円	
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)		19 負担金、補助及び交付金	2,987,980 円		
	22年度迄の累積事業費					合計	98,327,522 円		
	24年度以降の事業費見込								

会計名			施設補修事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	11					作成者	岩坪 エリカ	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容						
	目的		市民休暇村の施設補修を行い、利用者にとって、安全で快適な施設の維持を図る。		主たる内容		市民休暇村の施設老朽化等に対し補修工事を行う。		
	対象者		市民						
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画				
	事業期間		H11～		根拠法令				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機1号機電気部品取替工事 冷温水発生機1号機真空対策工事 冷温水発生機2号機電気部品取替工事 冷温水発生機2号機真空対策工事 内部改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> ラウンジ遮音壁設置等工事 ふれ愛パーク調整池法面補修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 客室カーテン16室分喫煙所設置工事 浴場タッチスイッチ設置等工事 		<ul style="list-style-type: none"> 中浴場露天風呂漏水補修 大・中浴場排煙窓補修 大・中浴場排煙窓オペレーター取替 家族風呂入口グレーチング設置 脱衣所籐タイル張替 厨房天井SUS板貼り 客室内部改修 		
	成果 (できたこと)		客室カーテンの老朽化に対して全16室分の取替えを行い、また喫煙所設置、不具合箇所の補修工事を行うことにより、利用者にとって安全で快適な施設維持を図った。						
	課題 (できなかったこと)		施設の経年劣化により、補修必要箇所は増えていく見込みである。利用者へのサービスを損なうことのないよう、計画的に補修を行う必要がある。また、平成24年度に休暇村オープン15年目を迎えるにあたり、施設の老朽化等に対する大規模修繕を検討する時期となってくる。						
	指標名称		実績値			目標値			
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				4,600	19,761	11 需用費	1,564,500 円	
	事業費		14,973	4,127	3,150	19,000	15 工事請負費	1,585,500 円	
	特定財源			0	0	0	合計	3,150,000 円	
	一般財源			4,127	3,150	19,000			
	職員人件費				1,450	761			
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)					
		22年度迄の累積事業費							
		24年度以降の事業費見込							

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	生涯学習課			
款	項	目					課等長名	鈴木 康則			
10	5	12	作成者	尾崎 有香							
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により施設の適切な管理運営を行い、生涯学習の推進を図る。				主たる内容	○北部生涯学習センターの管理運営				
	対象者	対象者を限定せず									
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画							
	事業期間	H19～	根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例							
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画				
	・指定管理者による管理運営 (刈谷市都市施設管理協会)		・指定管理者による管理運営 (刈谷市都市施設管理協会)		・指定管理者による管理運営 (刈谷市都市施設管理協会)		・指定管理者による管理運営 (刈谷市都市施設管理協会)				
	成果 (できたこと)	施設の修繕等を踏まえ、指定管理者を通じて適切に管理運営をすることができた。									
	課題 (できなかったこと)	利用者の意見を反映し、利用率の向上を図り、指定管理者を通じてより良い施設運営を継続していく。									
	指標名称				実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
北部生涯学習センター利用率				20.8%	25.1%	25.3%	26.1%	27.7%			
他市との比較検証											
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳				
	単位：千円				103,276	110,041	12 役務費	56,393 円			
	事業費		92,971	88,594	101,826	108,518	13 委託料	100,822,146 円			
	特定財源			10,621	11,990	11,596	14 使用料及び賃借料	947,640 円			
	一般財源			77,973	89,836	96,922	合計	101,826,179 円			
	職員人件費				1,450	1,523					
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費										
	24年度以降の事業費見込										

会計名			北部生涯学習センター施設補修事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					課等長名	鈴木 康則	
10	5	12					作成者	尾碕 有香	
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	目的	老朽化に伴い著しく不調となった受電設備及び舞台機構幕地開閉装置の更新等を行い、貸館としての機能維持を図る。				主たる内容	○浄化槽機器取替修繕 ○研修室床張替え工事 ○受電設備改修工事 ○舞台幕地開閉装置改修工事		
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	H21～	根拠法令						
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	—		<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽自動荒目スクリーン取替工事 浄化槽汚泥濃縮層エア配管等取替工事 浄化槽ばっ気ブロー等改修工事 センターロビー等防水改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 舞台照明設備調光装置の更新 中央監視装置更新 ピアノ庫空調機設置 非常用自家発電機鉛蓄電池取替修繕 エントランスホール防水改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽機器取替修繕 研修室床張替え工事 受電設備改修工事 舞台幕地開閉装置改修工事 		
	成果 (できたこと)	老朽化が進み、不具合の出ていた舞台照明設備調光装置および中央監視装置の更新を行った。							
	課題 (できなかったこと)	平成22年度に見送りとなった、浄化槽機器取替修繕を平成23年度中に行う。また、老朽化により使用に支障をきたしている設備等についても、順次改修を行っていく。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			29,477	12,061	11 需用費	645,750 円		
	事業費		4,660	28,027	11,300	15 工事請負費	15,200,850 円		
	特定財源		0	0	0	18 備品購入費	12,180,000 円		
	一般財源		4,660	28,027	11,300	合計	28,026,600 円		
	職員人件費			1,450	761				
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部 生涯学習部
款 10			項 5				担当課 生涯学習課
目 12			課等長名 鈴木 康則				作成者 加藤 良
P A L A N 事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 生涯学習 学習機会の充実				
	目的	各種市民講座を実施し、市民の学習意欲の向上及び学習機会の提供を図る。			主たる内容	生涯学習センターにおいて、各種市民講座を実施する。	
	対象者	市民					
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画		
	事業期間	H20～		根拠法令			
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		
	・北部生涯学習センター 22講座 受講者数289人		・北部生涯学習センター 28講座 受講者数341人		・愛知教育大学 5講座 延受講者数481人 ・名城大学 6講座 延受講者数531人		
	成果 (できたこと)		大学連携講座においては、大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上及び学習活動の活性化を図ることができた。				
	課題 (できなかったこと)		大学連携講座においては、実施する講座が単発講座になると、目標値の達成が困難となる。講座の実施については大学の協力を得る必要があるため、大学との連絡調整を通じて引き続き一定の講座数を確保する必要がある。				
	23年度計画		(大学連携講座は「市民講座開設等事業」へ移行) ・愛知教育大学 8講座実施予定 ・名城大学 2講座実施予定				
指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
大学連携講座の受講者数			-	-	1,012人	400人	1,400人
他市との比較検証							
C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳
	単位：千円				2,349		11 需用費 42,000 円 12 役務費 22,650 円 14 使用料及び賃借料 472,300 円
	事業費		2,612	6,840	537		合計 536,950 円
	特定財源			1,017	172		
	一般財源			5,823	365		
	職員人件費				1,812	1,903	
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)		
	22年度迄の累積事業費						
	24年度以降の事業費見込						

会計名			備品整備事業				担当部	生涯学習部			
一般会計							担当課	生涯学習課			
款	項	目					課等長名	鈴木 康則			
10	5	12	作成者	尾碕 有香							
P L A A N	第7次総合計画		分野	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進							
	基本施策 施策の内容		北部生涯学習センターの管理運営業務に必要な備品を整備することにより、利用者サービスの向上を図る。				主たる内容		破損、老朽化等により必要となった備品を購入する。		
	目的										
	対象者		対象者を限定せず								
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画						
事業期間		H22～		根拠法令							
B D O	20年度実績		21年度実績			22年度実績			23年度計画		
	_____		_____			・ピアノ庫用除湿機購入			・ピンマイク購入		
	成果 (できたこと)		ピアノ庫へ除湿機を2台整備した。								
	課題 (できなかったこと)		老朽化に伴い、使用に際し不具合の生じている備品がでてきているため、計画的な更新が課題となる。								
	指標名称			実績値			目標値				
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
	他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳				
	単位：千円				429	631	18 備品購入費		66,675 円		
	事業費				67	250	合計		66,675 円		
	特定財源				0	0					
	一般財源				67	250					
	職員人件費				362	381					
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費										
	24年度以降の事業費見込										

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					課等長名	鈴木 康則		
10	5	13					作成者	尾碕 有香		
P L A A N	第7次総合計画		分野	教育文化 生涯学習 生涯学習施設の利用促進						
	基本施策 施策の内容						主たる内容	○総合文化センターの維持管理 ○指定管理者による総合文化センター管理運営業務の実施		
	目的		総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習機会及び文化・芸術活動の発表の場を提供する。							
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間		H21～	根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市総合文化センター駐車場条例						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	—		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営 ・ピアノ修繕 ・ピアノ運搬台車購入 ・簡易特殊公衆電話購入		・指定管理者による管理運営			
	成果 (できたこと)		平成22年4月に開館を迎え、利用者の意見を反映しつつ、指定管理者を通して適切に管理・運営を行った。							
	課題 (できなかったこと)		施設を広く周知し、利用促進を図るとともに、利用者の意見を反映し、指定管理者を通してより良い施設運営を図っていく。また、生涯学習施設において補修の必要が生じた際には、ユニバーサルデザインに配慮し、補修を行っていく。							
	指標名称		実績値			目標値				
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度				
中央生涯学習センター利用率(控室除く)		—	—	35.7%	36.8%	39.0%				
他市との比較検証										
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				468,759	488,953				
	事業費			110,932	466,584	486,669	11 需用費	66,260,376 円		
	特定財源			4,137	77,257	73,320	12 役務費	929,013 円		
	一般財源			106,795	389,327	413,349	13 委託料	396,302,400 円		
	職員人件費				2,175	2,284	14 使用料及び賃借料	1,524,860 円		
建設事業		全体事業費		備考(補助名称等)		18 備品購入費	1,567,650 円			
		22年度迄の累積事業費				合計	466,584,299 円			
		24年度以降の事業費見込								